

自分の力で、輝く。



洛星中学校・高等学校

心と頭と体のバランスのとれた
豊かな人間性を育む

①全力で取り組む男子校の体育祭は大迫力②始業前にチャペルで行う「朝の祈り」③クリスマス・タブローでは、合計300人以上の生徒がキャストまたはスタッフとして参加④次世代リーダー養成プログラムでは、米国ハーバード大学に滞在し、そこで学ぶ学生たちとの交流を通して、自らの目指すべきキャリア像を描く⑤文化祭での展示説明の様子



PICK-UP

近隣駅と学校とを結ぶ スクールバスを 朝夕運行

同校では昨年4月から新入生(中1)を対象に、スクールバスを運行している。観光客の増加もあり、通学時に「なかなかバスに乗れない」という生徒たちの声に応えた。阪急西院駅から学校まで(JR円町駅経由)、朝は大型バスを1便、夕方はマイクロバスを5便運行。これにより混雑に巻き込まれることなく通学できるようになり、同校へのアクセスは大幅に改善された。「通学だけで疲れてしまい、勉学に支障が出ていけないので、これからも運行を続けていきたい」(事務局長の南出貴志氏)

本校はヴィアトリル修道会によって設立され、キリスト教カトリック精神に基づいた全人教育を行なっています。全ての人間を神に愛された存在として尊重し、愛をもって接することのできる心と力が備わった人材を育てることを使命としています。あなたが人を助けたいと思つたとき、その思い(心)だけでは不十分です。助けるためには、知識や技術(頭)と行動力(体)が必要です。それら3つのバランスを保った成長を大切にして



小田 恵
校長



います。キリストや聖書の言葉から人間や社会について学び、現代の諸問題から隣人や社会にどう向き合い、思いやりの心を持つかなどの考えを深めていきます。

学習面、環境面で 教育環境を充実

ここ数年は、生徒たちが校内での学びや活動により集中して取り組めるよう教育環境の充実をはかっています。

学習面では、昨年度に導入した「放課後学習サポートシステム(ELC)」が2年目を迎えます。これは自学自習の習慣を確立し、基礎学力の定着をはかるためのもの。生徒たちは放課後の時間を有効活用して授業内容に沿った復習や予習などに積極的に取り組んでいます。運営スタッフが常駐しているため、授業でわからなかったことや悩みなどを質問、相談することもできます。受け身ではなく能動的に考えて学ぶ習慣をしっかりと

自分の力で生涯ずっと 輝ける人に

私たちがいつも大切にしてるのは「自分の力で、ずっと輝く」という言葉。本校で学ぶ生徒たちが自らの能力を存分に発揮して、生涯ずっと成長し続け、キラキラと輝き、まばゆいその光を見た周囲の人たちを勇気づけられる存在になってほしいと願っています。

SCHOOL DATA

洛星中学校・高等学校 <https://www.rakusei.ac.jp/>
〒603-8342 京都府京都市北区小松原南町33 TEL.075-466-0001

